



～金木庁舎が新しくなりました～

5月6日、新金木庁舎の供用開始に伴い、開庁式が行われました。式では佐々木市長が挨拶したほか、磯邊市議会議長が祝辞を述べた後、関係者によるテープカットを行いました。

新金木庁舎は地上2階建ての鉄骨造となっており、1階には図書館金木分館、2階には金木商工会が併設されています。また、太陽光発電設備や停電時の際に3日間連続での運転が可能な非常用発電機を備えています。

主な 内容	第2回定例会の概要 …… 2～4	代表質問 …… 7	次回定例会の予定 …… 14
	令和3年度当初予算 …… 4～5	一般質問・討論 …… 8～11	手話言語条例の制定 …… 14
	主な新規・拡充事業 …… 5	第3回臨時会の概要 …… 11～12	編集後記 …… 14
	予算特別委員会 …… 6	議決結果表 …… 12～13	

※お詫びと訂正 2月25日発行の議会だより第40号の2ページ、人権擁護委員の候補者に推薦された土岐千鶴子氏のお名前のふりがなを「ときちづこ」としていましたが、正しくは「ときちすこ」でした。お詫びして訂正いたします。

令和3年第2回定例会

令和3年第2回定例会が2月26日から3月15日までの18日間の会期で開催され、市長から提出された議案56件と議員発議3件の合計59件の議案を原案のとおり可決、承認、同意しました。また、任期満了により常任委員会及び議会運営委員会の委員を新たに選任しました。

新しい委員会構成（任期：令和5年2月15日まで）

総務常任委員会	民生文教常任委員会	経済建設常任委員会	議会運営委員会
委員長 成田 和美	委員長 松本 和春	委員長 木村 清一	委員長 三渦 春樹
副委員長 山田 善治	副委員長 伊藤 永慈	副委員長 外崎 英継	副委員長 鳴海 初男
委員 山口 孝夫	委員 平山 秀直	委員 三渦 春樹	委員 木村 清一
委員 秋元 洋子	委員 木村 博	委員 加藤 磐	委員 伊藤 永慈
委員 鳴海 初男	委員 木村 慶憲	委員 磯邊 勇司	委員 成田 和美
委員 吉岡 良浩	委員 藤森 真悦	委員 花田 進	委員 木村 慶憲
委員 寺田 幸光	委員 高橋 美奈	委員 黒沼 剛	委員 松本 和春
委員 桑田 哲明			

人事案件

○農業委員会委員

あきや	さとし	氏	(喜良市 新任)
秋谷	論	氏	(喜良市 新任)
あべ	きよし	氏	(羽野木沢 再任)
阿部	喜代志	氏	(羽野木沢 再任)
いしおか	せいいち	氏	(野里 新任)
石岡	清一	氏	(野里 新任)
いしおか	まさき	氏	(野里 新任)
石岡	雅樹	氏	(野里 新任)
いちのへ	たかし	氏	(藻川 新任)
一戸	孝志	氏	(藻川 新任)
おがさわら	すすむ	氏	(田川 再任)
小笠原	進	氏	(田川 再任)
おさない	きよと	氏	(嘉瀬 再任)
小山内	清人	氏	(嘉瀬 再任)
おの	れつこ	氏	(一野坪 再任)
小野	列子	氏	(一野坪 再任)
かなや	こうだい	氏	(高野 新任)
金谷	広大	氏	(高野 新任)
くどう	のぼる	氏	(錦町 新任)
工藤	昇	氏	(錦町 新任)
こばやし	たつえい	氏	(朝日山 新任)
小林	達英	氏	(朝日山 新任)
さと	たかみち	氏	(相内 再任)
佐藤	敬道	氏	(相内 再任)
さと	よしいち	氏	(毘沙門 新任)
佐藤	善一	氏	(毘沙門 新任)
しる	ひろたけ	氏	(七ツ館 再任)
白戸	裕丈	氏	(七ツ館 再任)
そう	たかお	氏	(十三 再任)
相馬	孝雄	氏	(十三 再任)
とのさき	こういつ	氏	(原子 新任)
外崎	高逸	氏	(原子 新任)
なかや	のりよし	氏	(川倉 再任)
中谷	徳善	氏	(川倉 再任)
のり	えいいち	氏	(藻川 新任)
乗田	栄一	氏	(藻川 新任)
もり	よしひろ	氏	(水野尾 再任)
森	義博	氏	(水野尾 再任)
やなぎはら	かずお	氏	(飯詰 再任)
柳原	一夫	氏	(飯詰 再任)

専決処分

○令和2年度一般会計補正予算（第11号）

【補正額 4億4,440万4千円】

新型コロナウイルスワクチン接種のための費用及び除排雪に要する費用を追加するものです。

補正予算

○令和2年度一般会計補正予算（第12号）

【補正額 ▲1億355万5千円】

＜補正予算の主な内容＞

・特別教育・保育事業（2,335万円）

新型コロナウイルス対策のため、保育所等で必要となるマスクや消毒液などの購入にかかる経費のほか、保育士の負担軽減のため、登園管理システムの導入等に要する経費を補助するものです。

・放課後児童健全育成事業（980万円）

新型コロナウイルス対策のため、放課後児童クラブで必要となるマスクや消毒液、空気清浄機などの購入にかかる経費の支援を行うものです。



- ・小学校教室等空調設備整備事業（▲6,500万円）
- ・中学校教室等空調設備整備事業（▲3,500万円）
設計の結果、工事請負費が減額見込みとなったことによるものです。

- ・ふるさと納税推進事業（3,000万円）
ふるさと納税の件数増加に伴い、事務費及び積立金を追加するものです。

- ・消防事務組合負担金（▲1,914万3千円）
救急車、資機材の購入、金木中里統合消防署の設計等について、入札の結果等により負担金が減額したものです。

- ・防災行政無線整備事業（▲8,060万1千円）
資機材の入荷遅れにより、今年度分の事業費を減額し、事業期間を1年延長するものです。

○令和2年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）

【補正額 4,185万9千円】

県支出金の保険給付費等交付金を特別会計を経由して病院、診療所に交付するほか、保険給付費が増加したことによるものです。

○令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

【補正額 143万円】

青森県後期高齢者医療広域連合の負担金を増額するものです。

条 例

○手話言語条例の制定

手話言語に関する基本理念を定め、市の責務並びに市民及び事業者の役割を明らかにすることで、手話言語への理解及び手話言語の普及を推進し、ろう者とろう者以外の者が共生することのできる地域社会の実現を図るものです。



○介護保険条例の一部改正

令和3年度から令和5年度までの第1号被保険者の保険料の基準月額を現行の6,600円から100円引き上げ、6,700円とするものです。

○指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

指定居宅介護支援事業所の管理者の資格に関する事項を改めるものです。

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部改正

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、引用している条文中の字句を改めるものです。

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

放課後児童支援員が修了しなければならない研修に関する事項を改めるものです。

○新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正に伴い、引用している条文の字句を改めるものです。

○指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正

指定居宅サービス等の人員、設備及び運営に関する基準等の一部改正に伴い、市の指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を改めるものです。

その他

○市道路線の認定

宅地造成に伴い寄付採納された道路等を市道として認定するものです。

- ・唐笠柳11号線 30.97m
- ・唐笠柳16号線 147.57m
- ・唐笠柳17号線 101.57m
- ・唐笠柳18号線 262.0m

○青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに青森県市町村総合事務組合規約の変更

○青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更

十和田地区環境整備事務組合の解散等に伴い、規約の改正等を行うものです。

議員発議

○会議規則の一部改正

本会議及び委員会の欠席事由の整備並びに請願に係る署名押印の見直しをするものです。
今回の改正により、請願者が請願書に署名したときは押印が不要となります。

○治安維持法犠牲者国家賠償法の制定を求める意見書

国に対し、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認め、治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を行うこと、治安維持法による犠牲者の実態を調査し、その内容の公表を求めるものです。
提出先…衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、法務大臣

○加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書

国に対し、加齢による難聴者の補聴器購入を補助する制度を創設することを求めるものです。
提出先…衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、厚生労働大臣



令和3年度 当初予算

一般会計は前年度比1.8%の減

令和3年度一般会計予算額は、対前年度比5億6,800万円減の303億5,500万円となっています。
歳入では、人口減少に加え、新型コロナウイルスの影響により市税の一層の減収が見込まれています。
歳出を性質別に見ると、扶助費、公債費の増加により義務的経費は増加していますが、金木庁舎建設等の大規模事業の終了により投資的経費が大幅に減少し、全体では予算規模が縮小しています。
一般会計以外の14特別会計総額では、対前年度比2,390万円（0.2%）増の138億9,372万8千円となりました。

令和3年度 当初予算

(単位：千円、%)

会 計 名		R3 予算額	R2 予算額	増 減 額	前年度比
一	般 会 計	30,355,000	30,923,000	△ 568,000	△ 1.8
特 別 会 計	国民健康保険事業勘定	6,216,738	6,326,174	△ 109,436	△ 1.7
	国民健康保険医科診療施設勘定	157,846	173,342	△ 15,496	△ 8.9
	国民健康保険歯科診療施設勘定	39,522	38,335	1,187	3.1
	後期高齢者医療	695,357	688,397	6,960	1.0
	介護保険	6,679,821	6,535,738	144,083	2.2
	高等看護学院	100,749	102,021	△ 1,272	△ 1.2
	神山財産区	167	95	72	75.8
	松野木財産区	96	95	1	1.1
	戸沢財産区	96	95	1	1.1
	嘉瀬財産区	338	340	△ 2	△ 0.6
	喜良市財産区	142	142	0	0.0
	相内財産区	1,128	1,596	△ 468	△ 29.3
	脇元財産区	1,300	2,220	△ 920	△ 41.4
十三財産区	428	1,238	△ 810	65.4	

会 計 名		R3 予算額	R2 予算額	増 減 額	前年度比	
企 業 会 計	水 道 事 業	収益的収入	1,490,608	1,508,557	△ 17,949	△ 1.2
		支 出	1,441,312	1,374,875	66,437	4.8
		資本的収入	425,301	794,201	△ 368,900	△ 46.4
		支 出	945,326	1,342,131	△ 396,805	△ 29.6
	工業用水道事業	収益的収入	113,518	115,322	△ 1,804	△ 1.6
		支 出	103,613	99,075	4,538	4.6
		資本的収入	37,417	112,516	△ 75,099	△ 66.7
		支 出	43,792	115,979	△ 72,187	△ 62.2
	下 水 道 事 業	収益的収入	871,777	896,768	△ 24,991	△ 2.8
		支 出	1,078,821	1,107,285	△ 28,464	△ 2.6
		資本的収入	652,760	608,958	43,802	7.2
		支 出	746,163	702,961	43,202	6.1

注目!

令和3年度 主な新規・拡充等事業

○予防接種事業（コロナ対策）（繰越）

【3億3,305万3千円】

新型コロナウイルスの感染拡大防止策として市民へのワクチン接種を無料で実施するものです。

○子宝祝金支給事業（拡充）

【2,500万円】

少子化対策の一環として、第3子以降の出産に対し支給している10万円の祝金について、新型コロナウイルスの影響等を考慮し、令和3年度から令和5年度までは第1子及び第2子にも支給します。



○子育て支援アプリ導入事業（新規）

【114万7千円】

子育て世代の「妊娠・出産・育児」を切れ目なく支援するため、スマートフォンを活用し、育児情報の提供や予防接種の管理、成長記録の保存を可能にするほか、オンライン相談の体制を整備します。

○地域おこし協力隊活動事業（拡充）

【651万4千円】

地域力の維持・強化を図るため、地域活性化に意欲のある都市部の人材を受け入れ、地域協力活動に従事してもらいながら本市への定住を図ります。令和3年度は4名の採用を予定しています。

○稲わら活用Win-Winモデル事業（新規）

【193万6千円】

稲わらの有効利用と焼却防止を目的とした協議会を設立し、稲作農家への啓発活動と、稲わらを利用した新たな産業と雇用の創出を図ります。

○金木観光物産館リニューアル事業（継続）

【1億3,919万1千円】

金木観光物産館を農産物直売所を核とした地域活性化の拠点として整備することで、金木地域中心市街地の賑わいの創出を図るものです。オープンは令和4年4月1日を予定しています。

○金木小学校大規模改造事業（継続）

【1億9,442万7千円】

金木小学校の屋根、外壁、内壁、内部床等のほか、給排水、暖房等について大規模改造を行い、教育環境の向上を図るものです。



大規模改造される金木小学校校舎

予算特別委員会

3月5日に全議員で設置された予算特別委員会は、委員長に秋元洋子委員、副委員長に黒沼剛委員を選任し、8日及び9日の2日間にわたり令和3年度一般会計予算など22件について審査を行いました。委員会での質疑のうち、主なものを掲載いたします。

○令和2年度一般会計補正予算（第12号）

問 小中学校の特別教室、事務室等への空調設備の整備の見通しは。

答 空調設備の整備に当たっては、使用時間、使用頻度の高い、特別支援学級を含む普通教室、職員室、校長室、事務室に空調設備を設置することとしている。特別教室への設置については、今後学校からの要望を踏まえて検討してまいりたい。

○令和3年度一般会計予算

問 公共施設等配置適正化事業の内容は。

答 旧金木高等学校市浦分校及び旧松が丘児童館を解体するもの。

問 地域おこし協力隊制度の内容及び新年度の配置予定は。

答 地域おこし協力隊制度は、都市地域に住んでいる方の過疎地域等への移住を促すもので、最長3年間その地域の情報発信や地場産品の開発、農林水産業への従事や住民への生活支援等を行いながら、その地域への定住、定着を図ることを目的としている。令和3年度は金木地区に2名、市浦、五所川原地区に各1名配置する予定である。

問 旧本庁舎解体事業の今後のスケジュールは。

答 令和3年度に設計業務を行い、令和4年度に工事を行う計画である。

問 旧本庁舎解体事業の設計業務委託料が、事業が中止となった平成30年度の委託料に比べ増額となった理由は。

答 平成31年に委託料算定基準の大幅な改正があり、人件費、諸経費等が増となったこと等が要因である。

問 若年者の投票率向上に向けてどのような取組をしているか。

答 市明るい選挙推進協議会と協力し、成人式の際にポケットティッシュや啓発冊子を配布しているほか、各小中学校に出向いて、「選挙出前講座」を実施しており、模擬投票等を体験することにより選挙制度に対する理解と関心を向上させるきっかけ作りに取り組んでいる。また、新年度

はツイッターの活用により、選挙の取組の情報を随時発信することで啓発活動を強化したい。

問 母子家庭等対策総合支援事業の内容及び周知方法は。

答 母子家庭の母または父子家庭の父が就業の際に有利となる資格等を取得するにあたり、給付金を支給するもの。ホームページ、広報のほか高等看護学院等でも周知している。

問 稲わら活用Win-Winモデル事業の内容は。

答 わら焼きの被害が特に多いエルム周辺等の地域を重点地区として設定し、その地区内で耕作している農家を中心に稲わら収集機械（ミニロールベラー）を貸し出し、実際に稲わらの収集、販売に取り組むもの。

問 桜まつり開催事業費補助金等が減額となった理由は。

答 実行委員会と協議した結果、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、金木桜まつりの花火大会、ステージイベントを行わないこととしたほか、津軽三味線全日本金木大会及び仁太坊まつりは秋以降の開催に向けて検討することとし、当初予算には費用を計上していないため減額となった。

問 金木観光物産館のリニューアル後の経営形態は。

答 改修事業の基本構想では、市直営ではなく、指定管理者制度を活用し、生産現場に近い方の意見を反映できるような主体による管理を想定している。新年度に入ってから候補者の選定を行っていく予定としている。

問 今冬の除雪に関する苦情件数及び主な内容は。

答 2月末現在で五所川原地区1,656件、金木地区180件、市浦地区10件。吹きだまり及びわだちの解消、排雪の要望などが主な内容である。

問 金木地区の防災行政無線の整備スケジュールは。

答 部品調達に遅れが生じているが、令和3年9月末までには運用を開始できる予定である。

問 延期されている成人式の開催見通しは。

答 延期後の開催日は現時点で決定していない。開催日及び開催方法は、新成人の方々が安心して参加できるよう、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながらできるだけ早く決定しお知らせする。

○平成3年度介護保険特別会計予算

問 保険料の引き上げによる影響額は。

答 基準月額を100円引き上げたことによる増加分は、1,762万5千円である。



至誠公明会
木村 慶憲



市長の政治姿勢と本年の施政方針について

問 事業の内容等について伺いたい。

答 令和3年度は、コロナ禍にあっても市民の皆様方の安全、安心な生活を確保し、真に必要なとされる事業に集中して取り組むことが必要と考えており、新型コロナ対策をしっかりと行うことを前提に、子育てや市民生活への支援策、地域経済の活性化策を最重点に取り組む所存である。

子育てや市民生活への支援策については、小中学校の給食費、中学校までの子供の医療費の完全無償化を継続していきたい。また、4月からの3年間は全ての新生児に給付金を支給するなど、子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、子育てに関する支援拠点の設置やアプリを活用した事業を開催するなど、子育て世代に寄り添った施策を展開している。

地域経済の活性化策については、金木新庁舎をはじめ、令和4年4月には金木観光物産館を地場産品直売施設としてリニューアルオープンし、当該地区一帯を新たな金木の地域の顔として、生きがいやなりわいが創設される場として整備し、地域の活性化につなげていきたい。また、人口が減少し高齢化が進行することが見込まれる中、安心して住み続けられる地域社会の実現には地域公共交通の充実が必要不可欠であり、市民が利用しやすい交通体系の構築を図っていく。

事業の優先順位と財源の確保について

問 旧庁舎解体事業中止について伺いたい。

答 平成30年度に旧庁舎解体事業を廃止した理由として、旧庁舎の土地利用計画について、各関係各課や隣接地の土地所有者である国土交通省との協議を行うこととしていたが、跡地利用計画の決定に相当の日数を要することが見込まれ、解体設計も年度内に完了しないことや、現在進めている金木庁舎の建設事業と並行して旧庁舎の解体計画を進めていくことは、市の財政にとっても厳しく、事業の実施時期について平準化する必要があると判断したため事業を廃止したものである。



新政会
伊藤 永慈



新型コロナウイルス感染による地域経済について

問 4億円の地方創生臨時交付金の活用について伺いたい。

答 生活困窮者、非課税世帯、児童扶養手当受給世帯も含め、子育て世代に対し、どういった形で生活支援を行っていくか現在検討している。当市は、飲食の街であるため、飲食が賑わいを見せなければ活性化しない。経済部商工労政課において支援策を検討し、ウィズ・コロナの対策とアフターコロナが見えたときの対策に対して4億円を有効活用していきたいと考えている。

金木観光物産館リニューアルオープンについて

問 どのような構想と運営をするのか。

答 団体旅行からアフターコロナ時代の少人数での観光業態の変化への対応を見据え、本施設を観光客による土産品中心の店から農産物、地域住民中心の店に業務転換を図ることを検討、また単なる業務転換にとどまらず、地域住民のなりわいづくりと利便性の向上、観光客に対しても地域の魅力が広く発信される施設、地域活性化の拠点と地域課題の解決を図ることを目標に掲げ、年度内に基本構想を基に進めていく。





市民の声を聴く会

藤森 真悦



市民への安心安全な除雪の取組について

問 今年の冬は豪雪となり市民生活に大きな影響があった。私も市民の皆様から除雪の要望を多数頂き市に対応をお願いしていた中で高齢者の皆様への市職員による雪かき支援の取組は私の要望後次の日には対策に動いていただいた。市の迅速な対応に感謝する。来年度もぜひ支援をお願いしたい。毎年同じような除雪の苦情・要望がある中で改善策が様々あると思う。例えば町内の中で市民が望む除雪と実際に行われる除雪が異なる場合がある。除雪後の市による点検確認作業とともに要望を頂く市民に直接ご意見を伺うことも必要である。また除雪業者・担当の市職員も替わることもある。町内ごとに細かな市民要望書（ファイル）を作成し業者・市役所間で情報共有し毎年引き継いでいくような取組も必要ではないか？そして歩道の除雪に関してである。学校・病院・市役所等市民が多数利用する歩道、空き家・空き地前の歩道が全く除雪されない箇所が多数ある。子供たち・高齢者・市民は風雪の中道路を歩くことになる。県道の歩道に関しては要望を県の窓口である県民局へ市経由で伝えていただいたが全く改善されなかった。私が県民局に直接赴き話を伺ったが状況次第（要望・苦情）ではやるというような曖昧な回答である。私はすぐに県庁の担当部局に伺い五所川原市民は青森県民であると！県のホームページには安心安全な街づくりとうたっている。普段から歩道にも目を向けパトロールを実施し除雪をしていただけないかと要望をした。数日後にはきれいに除雪をしていただいたが市民の安心安全のためにはそれが当たり前取組である。これからは改善できないのであれば市として県に直接強く言うていくことも必要である。市民の皆様への安心安全な除雪の取組について市はどう考えるか建設部長にご質問する。

答 除雪後の点検は必要に応じて再除雪を指示し丁寧な除雪を指導していく。要望は担当の業者へ伝達し資料の電子化等情報共有に努める。市民から除雪要望が上がる前に状況把握ができればより早い対応が可能になる。除雪パトロールを実施し車道歩道の状況把握を検討していく。県道の歩道除雪は要望に追いついていない部分も確かにある。市として県民局とも連携を深め市民目線に立ったより良い除雪体制を構築していきたい。



新政会

黒沼 剛



新型コロナウイルスワクチン接種について

問 接種会場について、どこで接種を受けられるか伺いたい。

答 市町村による接種は、1日に多くの方へ接種機会を提供できる集団接種と、かかりつけ医などで接種できる個別接種があり、当市ではこの両者を併せた併用型の接種体制の稼働に向けた準備を進めている。集団接種を実施する会場として、中央公民館、市民体育館、金木公民館といった公共施設のほか、交通の利便性も考慮して、大型ショッピングセンターなど民間の施設の会場も検討している。



ELMホールで行われたワクチン集団接種予行演習の様子

融雪溝の整備について

問 今後の融雪溝の整備について伺いたい。

答 今年度の除排雪に関する苦情件数が例年より多くなっている要因として、寒波到来により暴風雪となった日が多く、吹き溜まりを解消して欲しい旨の要望が数多く寄せられ、例年より苦情件数が多くなったものと考えている。

また、今後の融雪溝の整備について、現在の融雪設備は、主に国道、県道の融雪のために整備されたものであるため、当市として今後、市道の融雪のために新たに融雪溝を設置することは、水源の確保及び当市の財源の問題からして、大変困難であると考えている。



議会インターネット中継 <http://www.goshogawara-city.stream.jfit.co.jp/>
 ※議員氏名横のQRコードをご利用いただくそれぞれの議員のインターネット中継へ簡単にアクセスできます。



至誠公明会

外崎 英継



農業委員の任命について

問 農業委員の選出方法が3年前から変わり、それまでの選挙による選出する公選制が廃止となり、議会の同意を得て市長が任命することになった。これにより当該任命の過程の公平性及び透明性を確保するため必要な措置を講じるよう努める旨法律で定められている。今回農業委員の応募者30名のうち、現在も農業委員として在籍し、実績と経験のある10名が任命対象にならなかったが、30名から20名に絞り込むにあたり選考の基準を設けたか、また選考委員会以外の案が取り入れられたということはないか。

答 1回目の農業委員会委員候補者選考委員会で選考の基礎となる基準を議決いただいた。選考委員会以外の案が取り入れられなかったかについては、情報公開条例もあり詳細には申し上げられない。

問 任命にあたり女性の任命が少ないと思われるが市としての考え方を伺う。

答 女性の任命については、国の男女共同参画基本計画に基づき、市としても3割程度まで引き上げたい。今回女性の応募が1名にとどまり、今後は募集の際、女性の参加を促していく。



日本共産党

花田 進



新型コロナウイルス対策について

問 多くの方が接種することにより集団免疫ができる可能性があり、市の新型コロナワクチン接種の方針や連絡方法及び寝たきりとか動けない人がいると思うが、そういう人たちにはどういった対応をしていくのか。

答 ワクチン接種の方法として、集団接種と医療機関で接種できる個別接種の稼働に向けた準備を今進めている。また、接種の対象者数は、令和3年度中に65歳以上に達する高齢者1万9774人、高齢者以外の接種対象者は2万8569人となっている。

市としては4月中旬をめどに発送する準備を進め、市役所庁舎内に設置するコールセンターや電話やインターネットでも予約ができるように作業を進めている。公共交通が利用できない方については、臨時的に小型バスなどの運行も視野に入れて対応したいと考えている。（※令和3年3月4日現在での答弁）

市長の政治姿勢について

問 佐々木市政になってから、学童や給食の民間委託が推し進められていることについて、市長の基本的な考え方を伺いたい。

答 外部委託に当たっては、市が直接実施しないことにより、市民サービスの低下がないか、また民間が持つ知識、ノウハウ等を活用することで、市民の満足度の向上が図れるのかなど様々な視点から総合的に検討を行っているところである。民間で行えるものは民間にお願いをして、そして多様化する行政の需要に対して、しっかりと対応していかなければならないと考えている。行革という名の下に、民間へ外部委託することによって行政サービスが後退を招くことはあってはならないということが基本的な考えである。



新政会

桑田 哲明



コロナ終息後の市の経済対策について

問 自主財源の中核である市税が前年度当初比で1億6500万円減となっている。事業者が立ち直るきっかけとなる支援策が必要ではないか。

答 市としても商工会議所や金木、市浦の商工会、そして2つあるJAをはじめとする経済団体や国、県といった行政機関等、様々な主体と連携しながら、適切な支援、施策を柔軟かつ迅速に実施し、市の経済活動を維持していかねばならないと思っている。また今は休業されている事業者に対しても、再開する際に支援することを検討している。今後、地域を盛り上げるイベントの開催等が自由にできるようになった際には、様々な団体に全面的に支援していく方向で考えている。

コロナ禍で見えた課題について

問 女性・若者・まずこの人たちは、パートあるいはアルバイトなど、非正規で働く方が多く、解雇・雇い止めと大変な状態である。また、子供を抱えているひとり親世帯では、今新学期を控えて入学や進学準備で支出が増えている。この時期に間に合うようにスピード感あふれる支援をしていただきたい。

答 非正規雇用等々、雇い止め、あるいはパートの方は時短を強いられ、確実にそういう人たちは所得が少なくなっているというのが現状だと理解している。そういう意味で非課税世帯や、その中でも扶養手当を支給されている子育て世代にどういう形で支援するのか今その方法について検討している段階である。早い時期に議員の皆様提案を申し上げて、意見を伺った上で実施したいと思っている。



至誠公明会

寺田 幸光



小・中学校の通学路の除雪について

問 冬休み明け前に通学路の除雪の確認はしているのか。3学期に小学校の集団登校は実施しているのか。

答 教育委員会では、始業式数日前から小中学校を巡回・確認し、土木課と連携して通学路の安全確保に向けた対応を講じたが、除雪が間に合わない通学路もあったことから、今後は、児童生徒が安全・安心に通学できるよう積雪状況を確認し、関係部署と連携を図りながら早めの対応に努めていく。また1月15日の3学期始業式の日には集団登校を実施したが、積雪や吹雪による視界不良等により危険な状態であったことから、安全を最優先して中止とした。新年度は、保護者の皆さんと協議しながら検討を進めていく。

エルムの街街路樹について

問 赤～いりんごの並木はなぜなくなったのか。また、場所を活用し学生の実習の場にできないのか。

答 エルムの街の通りは県道になったという事もあり、県とも協議する事項ではあるが、せっかくある広い歩道であるから、あそこは花でも何でもできるのではないかと感じている。できれば赤～いりんごが一番いいと思うが、食用リンゴは非常に病害虫に弱い。

五所川原の赤～いりんごは市民の目に触れてほしいし、来た方々にも花の色、果実の赤を鑑賞してほしいと思う。子供との交流も含めて、検討しながらそういう取組をしっかりとやっていきたい。



福山五所川原線(県道)の歩道

※議員氏名横のQRコードをご利用いただくことそれぞれの議員のインターネット中継へ簡単にアクセスできます。

議会インターネット中継 <http://www.goshogawara-city.stream.jit.co.jp/>



至誠公明会

平山 秀直



ワクチン接種について

問 ワクチン接種対象者の方には、接種票及び接種券は郵送で送られるとの事だが、今後の予約方法等について伺いたい。

答 対象者に対しては郵送で、接種券、予診票、接種に関する説明書と、予約方法についてを同封して各人に送付する。その中にコールセンター等の連絡先が示されているので、電話をして予約会場、日時を確認し予約していただくこととなる。実際の接種が始まると、その会場で接種後に接種済証が発行される仕組みになっている。

当市では、現在運用している予防接種管理システムに市民の接種情報を管理・運用する機能を追加することとしているところであり、このたび平井デジタル改革、IT施策、マイナンバー制度大臣によると、令和3年3月2日の閣議後の記者会見において、新型コロナワクチンの接種会場に接

種履歴を入力するタブレット端末を全国の接種会場に配布するとの方針が発表されており、このシステムは、タブレット端末のカメラ機能で接種券を読み取り、国による接種管理記録をシステムに反映させる仕組みとなっている。

経済支援対策について

問 生活困窮者の自立支援のための相談が大変急増していることから、相談支援の質の向上など、相談体制の充実、強化が大切であり、また生活に困窮している子育て家庭への経済的支援を拡充するとともに、学習支援においても関係機関と綿密な連携を図りながら、充実、強化に努めることが求められている。そこで、2年目となるコロナ禍の中、当市では今後どのような対策を考えているか伺いたい。

答 非課税世帯の雇用労働条件はあまり良くないと感じている。非課税は、正規雇用でないがゆえの所得構成となる。市では非課税世帯は全部把握しているが、その世帯に対して直接しっかりと給付したいと思っている。また令和2年度は、コロナの影響で多くの非課税世帯が見込まれることから、その世帯に対してもしっかりと相談窓口で対応し、支援できるような体制をつくっていきたいと思っている。

討 論

第2回定例会最終日に、民生文教常任委員会の委員長報告に対して討論がありましたので、その内容を掲載いたします。

○介護保険条例の一部を改正する条例

反対 日本共産党 花田 進

今回の改定では、月額100円の値上げで、9段階の区分では30円から170円の値上げとなっている。

たかが、100円の値上げと思う方もおられるかもしれないが、コロナ禍で暮らしが大変な中での負担は大きいものがある。

さらに、介護利用者は1割から3割の利用料負担がある。計画では次期の予想額が7,340円となっている。

平成31年度の決算では、2億6千万円の余剰金を積み立てている。これらの予算を使い、介護保険料のこれ以上の負担増とならないために反対する。よって、予算委員会の議案13号介護保険特別会計予算にも反対する。

令和3年第3回臨時会

令和3年第3回臨時会が4月30日に開催され、令和3年度一般会計補正予算（第3号）など市長から提出された議案8件を原案のとおり可決、承認しました。

専決処分の承認

○市税条例等の一部を改正する条例の制定
住宅借入金等特別税額控除の拡充・延長、土地の負担調整措置、環境性能割の臨時的軽減の延長等をするものです。

○半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定
平成33年3月31日から令和5年3月31日へ適用期限を延長するものです。

○国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
新型コロナウイルス感染症による収入の減収が見込まれる場合の国民健康保険税に係る減免申請書の提出期限を延長するものです。

○都市計画税条例の一部を改正する条例の制定
「市税条例等の一部を改正する条例の制定」
の固定資産税の改正内容に準じて改正するもの
です。

○介護保険条例の一部を改正する条例の制定
新型コロナウイルス感染症による収入の減収
が見込まれる場合の介護保険料に係る減免申請
書の提出期限を延長するものです。

○承認地域経済牽引事業のために設置される
施設に係る固定資産税の特別措置に関する
条例の一部を改正する条例の制定
適用期限の延長および対象施設の設置期限の
改正をするものです。

○令和3年度一般会計補正予算（第2号）
【補正額 5,589万2千円】
子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世
帯分）に係る経費を追加するものです。

補正予算

○令和3年度一般会計補正予算（第3号）
【補正額 1億9,357万3千円】
新型コロナウイルス感染症対策の設備導入の
支援金のほか、金木桜まつりの露店の出店を取
りやめたことに伴う出店者への支援金に係る経
費を追加するものです。

令和3年 第2回定例会・第3回臨時会議決結果表

令和3年第2回定例会

【賛否の分かれた案件】

議案番号	議席番号及び 議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	賛 成	反 対	白 票	議決結果
		藤森 真悦	花田 進	高橋 美奈	磯邊 勇司	外崎 英継	寺田 幸光	黒沼 哲明	桑田 善治	山田 初男	鳴海 和春	松本 慶憲	木村 和美	成田 良浩	吉岡 洋子	秋元 秀直	平山 春樹	三木 孝夫	山口 永慈	伊藤 清一	木村 馨	加藤 成					
議案第13号	令和3年度五所川原市介護保険 特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	1	0	原案可決
議案第27号	五所川原市介護保険条例の一部 を改正する条例の制定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	1	0	原案可決
議案第51号	農業委員会委員の任命について (相馬 孝雄氏)	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	11	10	0	同意
発議第2号	治安維持法犠牲者国家賠償法の 制定を求める意見書	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	11	10	0	原案可決

※(1)議長は採決に加わりません。(2)○は賛成、×は反対、白は白票(賛否が明らかでないもの)。

【全会一致の案件】

議案番号	件名	議決結果
議案第4号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度五所川原市一般会計補正予算(第11号))	承認
議案第5号	令和2年度五所川原市一般会計補正予算(第12号)	原案可決
議案第6号	令和2年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第7号	令和2年度五所川原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第8号	令和3年度五所川原市一般会計予算	原案可決
議案第9号	令和3年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計予算	原案可決
議案第10号	令和3年度五所川原市国民健康保険医科診療施設勘定特別会計予算	原案可決
議案第11号	令和3年度五所川原市国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計予算	原案可決
議案第12号	令和3年度五所川原市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第14号	令和3年度五所川原市高等看護学院特別会計予算	原案可決
議案第15号	令和3年度五所川原市神山財産区特別会計予算	原案可決
議案第16号	令和3年度五所川原市松野木財産区特別会計予算	原案可決
議案第17号	令和3年度五所川原市戸沢財産区特別会計予算	原案可決
議案第18号	令和3年度五所川原市嘉瀬財産区特別会計予算	原案可決
議案第19号	令和3年度五所川原市喜良市財産区特別会計予算	原案可決
議案第20号	令和3年度五所川原市相内財産区特別会計予算	原案可決
議案第21号	令和3年度五所川原市脇元財産区特別会計予算	原案可決
議案第22号	令和3年度五所川原市十三財産区特別会計予算	原案可決
議案第23号	令和3年度五所川原市水道事業会計予算	原案可決
議案第24号	令和3年度五所川原市工業用水道事業会計予算	原案可決
議案第25号	令和3年度五所川原市下水道事業会計予算	原案可決

議案番号	件名	議決結果
議案第26号	五所川原市手話言語条例の制定について	原案可決
議案第28号	五所川原市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第29号	五所川原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第30号	五所川原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第31号	市道路線の認定について(唐笠柳11号線)	原案可決
議案第32号	市道路線の認定について(唐笠柳16号線)	原案可決
議案第33号	市道路線の認定について(唐笠柳17号線)	原案可決
議案第34号	市道路線の認定について(唐笠柳18号線)	原案可決
議案第35号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに青森県市町村総合事務組合同約の変更について	原案可決
議案第36号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合同約の変更について	原案可決
議案第37号	農業委員会委員の任命について(秋谷 諭氏)	同意
議案第38号	農業委員会委員の任命について(阿部 喜代志氏)	同意
議案第39号	農業委員会委員の任命について(石岡 清一氏)	同意
議案第40号	農業委員会委員の任命について(石岡 雅樹氏)	同意
議案第41号	農業委員会委員の任命について(一戸 孝志氏)	同意
議案第42号	農業委員会委員の任命について(小笠原 進氏)	同意
議案第43号	農業委員会委員の任命について(小山内 清人氏)	同意
議案第44号	農業委員会委員の任命について(小野 列子氏)	同意
議案第45号	農業委員会委員の任命について(金谷 広大氏)	同意
議案第46号	農業委員会委員の任命について(工藤 昇氏)	同意
議案第47号	農業委員会委員の任命について(小林 達英氏)	同意
議案第48号	農業委員会委員の任命について(佐藤 敬道氏)	同意
議案第49号	農業委員会委員の任命について(佐藤 善一氏)	同意
議案第50号	農業委員会委員の任命について(白戸 裕丈氏)	同意
議案第52号	農業委員会委員の任命について(外崎 高逸氏)	同意
議案第53号	農業委員会委員の任命について(中谷 徳善氏)	同意
議案第54号	農業委員会委員の任命について(乗田 栄一氏)	同意
議案第55号	農業委員会委員の任命について(森 義博氏)	同意
議案第56号	農業委員会委員の任命について(柳原 一夫氏)	同意
議案第57号	令和3年度五所川原市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第58号	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第59号	五所川原市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
発議第1号	五所川原市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
発議第3号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書	原案可決
	総務常任委員会特定事件調査事項の閉会中の継続調査について	決定
	民生文教常任委員会特定事件調査事項の閉会中の継続調査について	決定
	経済建設常任委員会特定事件調査事項の閉会中の継続調査について	決定
	議会運営委員会特定事件調査事項の閉会中の継続調査について	決定

令和3年第3回臨時会

【全会一致の案件】

議案番号	件名	議決結果
議案第60号	専決処分の承認を求めることについて(五所川原市税条例等の一部を改正する条例の制定について)	承認
議案第61号	専決処分の承認を求めることについて(五所川原市半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
議案第62号	専決処分の承認を求めることについて(五所川原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
議案第63号	専決処分の承認を求めることについて(五所川原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
議案第64号	専決処分の承認を求めることについて(五所川原市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
議案第65号	専決処分の承認を求めることについて(五所川原市承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
議案第66号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度五所川原市一般会計補正予算(第2号))	承認
議案第67号	令和3年度五所川原市一般会計補正予算(第3号)	原案可決

次回定例会の予定	6月 3日(木)	本会議 (開会)
	6月 7日(月) ～ 8日(火)	本会議 (一般質問)
	6月 9日(水)	本会議 (総括質疑、予算特別委員会設置、議案付託)
		予算特別委員会 (組織会)
		常任委員会 (議案審査)
	6月10日(木) ～11日(金)	予算特別委員会 (議案審査)
6月17日(木)	本会議 (閉会)	

※開会は午前十時を予定しています。
※日程が変更になる場合があります。
※五月一日から十月三十一日までではクールビズ(夏の軽装) 実施期間です。
次回定例会日程が正式に決定されるのは五月下旬となりますので、市のホームページ等でご確認ください。

● お問い合わせ先…議会事務局

手話言語条例を制定しました

令和3年第2回定例会で、手話言語への理解及び手話言語の普及を推進するための基本理念等を定めた「五所川原市手話言語条例」が全会一致で可決されました。

条例は4月1日に施行され、今後は小中学校へ啓発資料を配布するなど、ろう者とろう者以外の方が共生できる社会の実現のための施策が推進されます。



ろうあ協会の皆さんと記念撮影

広報広聴委員が委嘱されました

広報広聴委員会委員の2年の任期が満了したことに伴い、3月30日に新たに7名の委員が委嘱され、同日開催された委員会において、委員長に山口孝夫委員、副委員長に高橋美奈委員を選任しました。

委員会では、議会だよりの発行などを通じて市議会の情報を発信してまいりますのでよろしくお願いいたします。



新たに委嘱された7名の広報広聴委員

編集後記

コロナ禍が続く、いつ収束するだろうかと思い悩む。その中で、施設にいる老いた親と面会もできない。県外の子や孫とも会えない。人と人の絆が切れないかと不安に思う。人は家族や社会との絆が切れたら生きてゆけない。最も悲しいのは、親の臨終に立ち会うことが、難しくなっていることである。病院では、コロナ患者でなくても面会がままならない。病状が急変すると家族はその場に間に合わないことが多い。親の臨終に立ち会えない家族の悲しみはとても大きい。親の死と死に目に会えないという2重の悲しみである。コロナワクチンのいち早い接種とPCR検査の幅広い実施で、この悲しみをいち早く乗り越えたいものである。(花田 進)

広報広聴委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 山口孝夫 |
| 副委員長 | 高橋美奈 |
| 委員 | 花田進 |
| 委員 | 寺田幸光 |
| 委員 | 桑田哲明 |
| 委員 | 黒沼剛 |
| 委員 | 外崎英継 |

■発行／五所川原市議会 ■編集／広報広聴委員会

〒037-8686 五所川原市字布屋町41番地1 TEL 0173-35-2114 FAX 0173-35-2113

ホームページ [五所川原市](#) [検索](#) → 五所川原市ホームページの関連サイト [五所川原市議会](#) をクリック

メールアドレス gikai@city.goshogawara.lg.jp

※ご意見・ご要望をお聞かせください。いただいたご意見はよりよい議会だよりの発行に役立たせていただきます。



議会ホームページのQRコード